

## 第24回 椋鳩十児童文学賞 受賞作品決定

### 《受賞作品》有沢 佳映 作『かさねちゃんにきいてみな』

第24回 椋鳩十児童文学賞の選考委員会が平成26年3月20日(木)に開催され、受賞作品は、有沢佳映さんの『かさねちゃんにきいてみな』(出版社:講談社)に決定しました。

椋鳩十児童文学賞は、日本を代表する児童文学者 椋鳩十氏の業績を永く顕彰するとともに、新たな児童文学者の発掘と児童文学の発展に寄与するために、平成2年に鹿児島市が創設したもので、これまでの受賞者の方々は様々な分野でそれぞれ活躍されております。

受賞作品決定をうけて、5月8日(木)に鹿児島市・城山観光ホテルで授賞式及び受賞交流会を、6月4日(水)に東京都千代田区・都市センターホテルで受賞交流会を開催いたします。

森博幸鹿児島市長をはじめ、選考委員である、タカシヨイチ委員、那須正幹委員、西本鶏介委員、三木卓委員など、多くの方々の参加を予定しております。

#### ●作者プロフィール

有沢 佳映 (ありさわ かえ) 氏

1974年(昭和49年) 40歳 女性

本名 新木 恵津子

職業: 無職

住所: 群馬県前橋市在住

略歴: 昭和女子大学短期大学部国語国文学科卒業。図書館、書店などに勤務。

昨年まで公立図書館嘱託職員。『アナザー修学旅行』で第50回講談社児童文学新人賞を受賞しデビュー



#### ●受賞作品の紹介

小学5年のユッキーは来年、登校班の班長になることが確定し絶望中……なぜなら現在の班長は、「ちゃんとして」の魔法の言葉で皆が一瞬で大人しくなる、6年でカリスマ班長のかさねちゃんだから。

そのかさねちゃんを先頭に、1年の暴れん坊娘ミツ、2年の人見知りのんすけ、2年と3年の忍者マニア兄弟・太郎次郎、4年のギャル系マユカと問題児リュウセイ、そして最後に5年で副班長のオシ、ユッキーが列で登校する、間宮小・南雲町二班8人の子どもたちの毎朝の歩みと成長を描きます。

年齢も家庭環境も性格もばらばらな8人が、毎朝騒がしく登校する様子がユーモラスで繊細な文章で生き生きと書かれています。子どもたちは、たった数ヶ月の間でも、自分とは全然違う他人たちとの関わりあいの中で着実に成長していくのだ、と納得させられる圧倒的なリアリティがあり、かさねちゃんのように優しくありたい、もっと賢くなりたい、と前向きな気持ちに自然となれる爽やかな感動作です。

※取材については、(株)講談社 児童図書第一出版部 松岡様(電話 03-5395-3535)を通してお願いします。

#### ■ 椋鳩十児童文学賞授賞式及び受賞交流会(鹿児島)

日時: 平成26年5月8日(木) 授賞式 10:00~11:00 交流会 11:15~12:00

会場: 城山観光ホテル(鹿児島市新照院町41番1号)

#### ■ 椋鳩十児童文学賞受賞交流会(東京)

日時: 平成26年6月4日(水) 18:00~20:00

会場: 都市センターホテル(東京都千代田区平河町2丁目4番1号)

※ 関連HP: <http://www.city.kagoshima.lg.jp/> (鹿児島市ホームページ)